

白浜レスキューネットワーク通信 7 月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク 理事長藤藪庸一

自殺者救済活動

7 月 1 日～7 月 31 日

相談電話件数 170 件

保護件数 2 件(男性 2 人)

自主退所件数 1 件(男性 1 人)

入院件数 1 件(男性 1 人)

共同生活者数 7 人(男性 7 人)

○田辺市からの要請で、男性を一人保護。母親は下の息子と白浜町なぎさホームで暮らしている。本人は関東で働いていたが、病んで仕事を辞め帰ってきた。田辺市の知り合い宅で泊まっていたが、その知り合いの家を出なければならなくなった。本人が 18 歳を超えているため、なぎさホームには住めないことから、当施設に受け入れることに。統合失調症を患い幻聴が聞こえる状態。しばらく滞在して、紀南こころの医療センターに入院することになった。

生活自立支援活動

○まちなかキッチンで働く男性は、明るくやりがいを感じながら働くようになってきた。ピアノや声楽のレッスンにも積極的に参加している。

○ヘルニアの状態が思わしくない男性に、腰を補強するベルトを渡した。仕事やフードバンク等、がんばって続けている。

○心臓に持病を抱えている男性は、毎月の通院しながら、まちなかキッチンで頑張っている。野菜の買い出しにも一人で行くようになった。

○週 3 回透析に通わなければならない男性は、作業所へ働きに行き始めた。白内障の手術も無事に終えることができた。

○農業と保養所で頑張っている 60 代男性は、暑い中、がんばっている。

○6 月に保護した男性が住んでいたアパートの

片付けをみんなで行なった。すべて引き払うことができた。必要な物は持って帰ってきた。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

変わらず、グルメシティにご協力を頂きながら、フードバンクとフードドライブの活動を続けている。また、ふるさと納税の返礼品を送ってくださる方もいて、フードバンク事業や共同生活でも使わせてもらっている。

・明誠高校和歌山白浜SHIP(通信制課程サポート校)

7月15日～17日、31日、スクーリングを椿小学校で行った。全員出席できた。

7月18日から夏休みに入った。

・児童家庭支援センター

8月1日近畿児童家庭支援センター協議会の研修会がもたれた。

・農業

バジルの成長次第で、今年も大阪への出荷に取り組みたい。

・夏の企画を計画中

*SEEKキャンプ

第一キャンプ：7月28日～30日

25名の参加があった。川でも山でも満喫するキャンプとなった。中村哲医師のアフガニスタン用水路建設について分かち合い、子どもたちが自分にもできること考えるきっかけとなった。

第二キャンプ：8月4日～6日

第三キャンプ：8月18日～20日

・マンスリーサポーターを募集しています。

寄付ページ

<https://syncable.biz/associate/shirahama-rescue>